

『間質性肺炎に合併した縦隔気腫の臨床像と予後の検討』

に關係する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『間質性肺炎に合併した縦隔気腫の臨床像と予後の検討』という調査、研究を行っています。縦隔気腫合併の特発性間質性肺炎と膠原病関連間質性肺炎の臨床像と生存期間を明らかにすることがこの調査、研究の目的です。

<調査の対象となる患者さま>

2011年7月から2014年4月までに認められた、特発性間質性肺炎と膠原病関連間質性肺炎に合併した縦隔気腫の患者さまが対象です。

<調査方法>

患者様のカルテ等をもとに症状、治療内容、各種検査所見の調査を行います。本研究で患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報 は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせ下さい。この研究へのデータ利用を希望されない患者様、ご家族の皆様は、下記までお申し出下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-2153

内科 蓑毛祥次郎

臨床研究センター 新井徹、井上 義一

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会(IRB)における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

(当院ホームページに掲載)